

多様化する福祉ニーズに 協力して活動を行う

―南丹市民生児童委員協議会総会―

5月27日、南丹市民生児童委員協議会総会が市国際交流会館で開かれ、民生児童委員96人が出席しました。総会では中川晃会長が「多様化する福祉ニーズに対して、協力をして活動を行いたい」とあいさつ。今年度の事業計画などが協議されました。

総会後には、佛教大学社会福祉学部の岡崎祐司教授による「地域福祉について」と題した講演が行われ、民生児童委員としての市民との関わり方などが話されました。



▲地域福祉について講演をされる岡崎教授



▲総代にあいさつをされる武田会長

地域の特徴や特性を生かして 商工会員を支援していく

―第一回 南丹市商工会
通常総代会―

5月26日、南丹市商工会通常総代会が市役所八木支所の文化ホールで開かれました。

南丹市商工会は今年4月1日に発足され、今回が発足後、初の総代会となりました。

初めに武田晏和会長が「地域経済の厳しい時代ではあるが、地域の特徴や特性を生かしながら、委員の支援をしていきたい」とあいさつ。その後、今年度の事業計画などの議案が承認され、南丹市商工会としての事業が本格的にスタートしました。

環境に優しい循環型農業で 安全・安心な農産物を生産

―美山有機農業推進協議会
設立総会―

5月29日、美山有機農業推進協議会設立総会が市役所美山支所で開かれました。

同協議会は、自然環境豊かな美山町から有機農業の取り組みを推進し、安全・安心な農産物の生産を展開するため設立されました。

総会では市原秀一代表が「化学肥料などを使わないで、環境に優しい『循環型農業』を進めていきたい」とあいさつ。また、協議会設立の規約や事業内容について話し合われました。



▲有機農業の取り組みを進める協議会が設立



▲市の担当者らがごみ処理の現状や処理方法を説明

地域づくりを担う方々に 事業や施策を説明

―出前講座を開催―

5月26日、南丹市地域づくり出前講座を美山町安掛集落センターで行い、安掛婦人部と生活部の22人が参加されました。この日は、南丹市におけるごみ処理の現状や処理方法について市役所や船井郡衛生管理組合の担当者から説明。ごみの分別や減量の必要性について話しました。

市では市民の皆さんの地域づくりに役立てていただくため、申し込みに応じて地域に向き、市の事業や施策などを説明します。